

保 存 版

福石地区地域福祉活動計画

福石んもん この指と～まれ

～老いも若きもスクラム組んで～



福石地区福祉対策推進協議会
佐世保市・佐世保市社会福祉協議会

【1】福石地区地域福祉活動計画策定委員会

福石地区の地域福祉活動計画を策定するにあたり、福石地区福祉対策推進協議会の構成員を中心とした「策定委員会」をつくり、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”（P7～P8参照）」で出された意見の整理や計画の原稿作成などを行いました。



（策定委員）

岩永ユキノ	遠藤 恭寛
沖田 厚子	川崎 治重
久保 敦司	古賀 久生
酒井 洋子	坂本 光恵
高木啓一郎	宅島 静代
中山マスエ	馬場 初幸
濱田 孝一	松田 厚生
水足 一生	嶺石 辰子
桃野 弘光	山口日都志
	（50音順）



福石を想い、福石のために考えました！
ぜひ読んで、一緒に参加してください！

福石地区福祉対策推進協議会 会長 古賀 久生
（福石地区地域福祉活動計画策定委員長）



平成18年度に佐世保市と佐世保市社会福祉協議会、福石地区福祉対策推進協議会との共同で「お茶の間トーク」が開催されました。

目的は福石地区の地域福祉活動計画を地域住民の皆さんと一緒に作り、共に行動を呼びかけることです。お茶の間トークで出された問題を見ると、ゴミ・高齢者対策・空家・犬猫問題など多種多様です。これらの問題に対しては、各町内で解決にむけて努力されているところもあります。しかし、それだけではなく、市長も「住み慣れた地域の中で市民一人ひとりが互いに支え合う地域福祉を進めることが大切です」と言われているように、お互いに支え合う心を持つことが大事になります。

人間は一人では生きていけません。多くの人々の支えがあってこそ今日、安心して生活できるのです。誰でもいつ近隣の人々の支えが必要になるかわかりません。人々の絆が希薄になっていく現在、気軽に声をかけられる人を持つこと、また自らも多くの人に声をかけ続けていく活動こそ地域福祉の基本であると考えています。遠まわりのようですが、人々の善の心を広げながら、心豊かな地域を目指すことこそ大切なのです。

【2】 地域福祉活動計画の概要

住みなれた地域で、これからも安心して暮らしたい！

これは誰もが願っていることです。

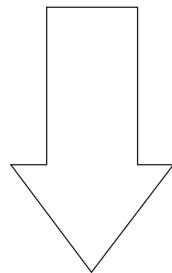


いま、地域では…

高齢者の見守り、子どもの安全、ごみ問題、町内会活動…など行政のサービスだけでは解決することが難しい、さまざまな問題があります。

むかしは…

「向こう三軒両隣」という近所の助け合いのなかで解決できていたかもしれません。



どうすれば解決できる？



「地域の中で問題となっていること・困っていること」などを、『**地域みんなの問題**』と考え、その解決について『**地域みんなで考え、取り組む**』ことが必要です。



地域福祉の考え方

◎この地域福祉の考え方を進めていくきっかけとして、「地域福祉“お茶の間トーク”」を行い、皆さんの住んでいる地域のことについて話し合いました。

P7～P8に掲載しています。

◎話し合った内容をもとに、さらに住みよい「福石地区」のまちをつくるために作成したのが、この福石地区地域福祉活動計画

福石んもん この指と～まれ

～老いも若きもスクラム組んで～

です。

これからも、みんなで協力して、安心して暮らせる地域をつくりましょう！

※この活動計画は、市内31地区でそれぞれ作成され、それをもとに、市全体の「地域福祉計画」が策定されます。